

伊 建 設 第 1 6 5 号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

伊東市長 佃 弘



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

このことについて、別紙のとおり提出します。

伊東市建設部建設課

土木建設係

TEL 0557-32-1753

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

国や県に緊急の場合の要望等を行うことがあります、「次年度の予算要求に組み込んで対応する。」ということではなく、本年度の予算の中で、各出先の国道事務所長の裁量で、緊急対応できる予算配分について考慮していただきたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○ 現状

連続雨量による国道１３５号等の通行止め

○ 課題

国道１３５号は、連続雨量が２００ｍｍ以上になると土砂崩れが無くても通行止めとなります。また、鉄道も一定の連続雨量や時間雨量で運休となってしまいます。

近年の集中豪雨や台風等により、通行止めとなる回数も増えていきます。

国の唱える「安心・安全で災害にも強い地域づくり」に市民や観光客も大きな期待をよせております。

早急に危険箇所を把握し、連続雨量等による通行止めの回数が減少するような措置をとっていただきたい。

②－２ 地域の目指すべき将来像

伊東市は観光立市であり、市内経済も観光に関係するものが多いのが現状であります。

平成２１年３月には「富士山静岡空港」も開港することとなり、多くの外国人や国内旅行者が訪れることが期待されていますが、伊豆へ向けての道路整備はまだ不十分であると考えます。

このことから、現在施工中の「伊豆縦貫道」やアクセス道路となる「中大見八幡野線」、「伊東大仁線」の早期完成について強く

要望するとともに、国県道や市道等の改良工事についても助成をお願いします。

本市におきましても道路網の整備を図り、観光客や市民のニーズに対応できるまちづくりを目指します。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項

地域交通安全の向上

○代表事例

伊東市宇佐美地区「あんしん通学路創出プラン」

○期待する効果や評価等

伊東市宇佐美地区には、伊豆東海岸を走る国道135号と、沼津や静岡方面へのアクセス道路となる伊東大仁線があり、通勤通学時間帯には通過車両や迂回車両が多く、児童の登下校時や公共施設への往来に危険を感じることも多くあることから、早期の安全対策が望まれております。

○重点事項

高齢化社会や障害者に対応したバリアフリー社会の形成

○代表事例

伊東市移動等円滑化基本構想

○期待する効果や評価等

移動に障害を感じる事のない社会の創造や、全ての人が暮らしやすいまちづくりの実現を目指し、JR伊東駅周辺において、道路や公共施設等について整合性をとりつつ、バリアフリー社会の形成を図っていくものです。